



2020年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 瀧川 順

TEL 03-3456-0561

定時株主総会開催予定日 2020年5月27日

配当支払開始予定日

2020年5月28日

有価証券報告書提出予定日 2020年5月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	12,207	6.2	449	51.8	405	54.4	283	53.9
2019年2月期	11,494	10.6	932	44.1	888	40.1	615	20.0

(注) 包括利益 2020年2月期 216百万円 (58.3%) 2019年2月期 519百万円 (24.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	135.31		7.4	2.9	3.7
2019年2月期	293.49		17.4	7.8	8.1

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 百万円 2019年2月期 百万円

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	15,524	3,925	25.3	1,873.06
2019年2月期	11,995	3,761	31.4	1,794.67

(参考) 自己資本 2020年2月期 3,925百万円 2019年2月期 3,761百万円

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	377	3,223	2,934	754
2019年2月期	986	973	24	667

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期		0.00		50.00	50.00	52	8.5	1.5
2020年2月期		0.00		25.00	25.00	52	18.5	1.4
2021年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,248	14.0	449		431		322		153.69
通期	12,135	0.6	60		79		64		30.89

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期	2,099,376 株	2019年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2020年2月期	3,520 株	2019年2月期	3,520 株
期中平均株式数	2020年2月期	2,095,856 株	2019年2月期	2,095,856 株

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(参考)個別業績の概要

1. 2020年2月期の個別業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	9,956	6.3	303	55.1	262	59.2	180	58.2
2019年2月期	9,368	7.6	676	23.2	644	17.4	432	7.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	86.27	
2019年2月期	206.49	

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	13,881	3,622	26.1	1,728.51
2019年2月期	10,401	3,536	34.0	1,687.32

(参考) 自己資本 2020年2月期 3,622百万円 2019年2月期 3,536百万円

当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 2021年2月期の個別業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,981	19.9	507		365		174.34
通期	9,507	4.5	290		208		99.67

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年3月1日～2020年2月29日)におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が継続するも、米中間での貿易摩擦の長期化、インバウンド需要の頭打ちや消費税増税の影響などもあり景気に対する先行きは不透明な状況で推移しました。また、年明け以降の新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす懸念も日に日に高まりを見せており、今後の先行きには予断を許さない状況となっております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、2017年度からスタートした「中期事業戦略ビジョン(2017-2021)」のもと、「生産能力の増強」ならびにグループシナジーの創出を通じた「グローバル化の加速化」の実現に取り組んだ結果、「生産能力の増強」の主要施策である「つくば工場の第3期拡張工事」が当第3四半期連結会計期間に竣工し、本格的に稼働を開始いたしました。今後は、処方・生産技術の研究開発、品質や安全性の向上に向けて更なる努力を重ねてまいります。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、第3四半期連結累計期間までは①日本国内におけるインバウンド・アウトバウンド需要を背景とした国内化粧品メーカーによるアウトソーシングに伴う堅調な受注、②海外大手化粧品メーカーからの“メイド・イン・ジャパン”製品の受注増、ならびに③フランスの連結子会社の順調な売上等を主因に好調に推移したことで、第4四半期連結会計期間において、日本国内におけるインバウンド需要の頭打ちに加えて新型コロナウイルス感染症による影響が発生したこと等のために売上が減速に転じたものの、前期比6.2%増の12,207百万円となりました。

利益面では、上記のとおり第4四半期連結会計期間に売上が減速する中で、「つくば工場の第3期拡張工事」竣工後の生産開始に伴い諸費用が増加したために、営業利益は前期比51.8%減の449百万円、経常利益は前期比54.4%減の405百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比53.9%減の283百万円となりました。

当連結会計年度における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

売上高は、第3四半期連結累計期間までは、中国をはじめとするアジア地域で“メイド・イン・ジャパン”製品の人気が高いことを背景に、国内化粧品メーカー各社がインバウンド・アウトバウンド需要を取り込んで製品の安定供給体制の確保を図り、また海外化粧品メーカーも“メイド・イン・ジャパン”製品の確保に動いている中、当社へのアウトソーシングも引き続き好調に推移したことから、第4四半期連結会計期間に上記のとおり売上が減速に転じたものの、前期比6.3%増の9,956百万円となりました。営業利益は「つくば工場の第3期拡張工事」竣工後の生産開始に伴う諸費用の増加もあって、前期比55.1%減の303百万円となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.(以下「テプニエ社」という)の所在する欧州は、先行き不透明感が継続する中、緩やかな経済成長を持続しておりました。このような事業環境のもとテプニエ社では医薬品・化粧品ともに順調に売上が伸張し、売上高は前期比7.8%増の2,382百万円となりましたが、医薬品に係わる新規制対応の費用等が嵩んだこともあり、営業利益は前期比45.1%減の140百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、5,731百万円(前連結会計年度末は5,315百万円)となり、前連結会計年度末に比べ416百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が65百万円、受取手形及び売掛金が118百万円、商品及び製品が63百万円、原材料及び貯蔵品が150百万円、その他が115百万円増加し、電子記録債権が31百万円、仕掛品が66百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、9,793百万円(前連結会計年度末は6,679百万円)となり、前連結会計年度末に比べ3,113百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が2,997百万円、無形固定資産が113百万円、投資その他の資産のその他が72百万円増加し、投資有価証券が59百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、4,363百万円(前連結会計年度末は5,091百万円)となり、前連結会計年度末に比べ728百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が110百万円増加し、支払手形及び買掛金が81百万円、短期借入金が400百万円、未払法人税等が131百万円、役員賞与引当金が50百万円、その他が201百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、7,235百万円(前連結会計年度末は3,141百万円)となり、前連結会計年度末に比べ4,093百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が3,659百万円、リース債務が433百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、3,925百万円(前連結会計年度末は3,761百万円)となり、前連結会計年度末に比べ164百万円増加いたしました。これは主に、株主資本が、親会社株主に帰属する当期純利益283百万円等により231百万円増加し、その他の包括利益累計額が66百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.3%(前連結会計年度末は31.4%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は754百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、377百万円(前連結会計年度は986百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益400百万円、減価償却費612百万円、仕入債務の増加額42百万円等による増加と、売上債権の増加額108百万円、たな卸資産の増加額163百万円、未払消費税等の減少額158百万円、法人税等の支払額213百万円等による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、3,223百万円(前連結会計年度は973百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,063百万円、無形固定資産の取得による支出115百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、2,934百万円(前連結会計年度は24百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の減少額485百万円、長期借入れによる収入5,703百万円と長期借入金の返済による支出1,939百万円、リース債務の返済による支出103百万円、配当金の支払額52百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の経営環境におきましては、昨年秋に実施された消費税増税以降の消費者の節約志向の高まりに加え、新型コロナウイルス感染者の世界規模での拡大に伴い、国内経済の停滞にとどまらず、世界経済全体にまで影響が及ぶ状況にあります。化粧品市場につきましても、新型コロナウイルス感染症の拡散防止に向けた各国各種の対策の結果、外出規制による化粧頻度の低下、海外旅行客の急減による免税店売上の低下、などの様々な側面で影響を受けるものと予想されます。

このような厳しい市場環境ではありますが、当社グループは「生産能力の増強」および「グローバル化の加速化」を骨子とする「中期事業戦略ビジョン(2017-2021)」の実現に向けて主要施策を着実に進めてまいり所存です。

次期(2021年2月期)の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明な状況の下で、特に第1、第2四半期連結期間は、新型コロナウイルス感染症の影響による化粧品市場の環境悪化を背景とした受注の減少や後ろ倒し、原料・資材の納期遅延の発生による減収を見込んでおります。新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中、その影響の期間が現時点では不透明なため、第3、第4四半期連結期間については業務運営の正常化を前提として通期見通しを策定し、通期の売上高は12,135百万円と前期比0.6%の減収を見込んでおります。一方、利益面では、第1、第2四半期連結期間の減収と、「つくば工場の第3期拡張工事」投資や海外子会社の生産能力拡張投資に伴う諸費用増等によりまして、営業損失60百万円、経常損失79百万円、親会社株主に帰属する当期純損失64百万円を見込んでおります。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の影響の程度や期間が不透明な中、次期(2021年2月期)連結業績見通しは変動する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	769,641	835,346
受取手形及び売掛金	2,107,933	2,226,476
電子記録債権	216,366	184,547
商品及び製品	718,427	781,889
仕掛品	291,925	225,882
原材料及び貯蔵品	941,352	1,091,774
その他	269,450	385,190
流動資産合計	5,315,097	5,731,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,121,428	9,683,075
減価償却累計額	△4,376,105	△4,572,384
建物及び構築物(純額)	2,745,323	5,110,690
機械装置及び運搬具	3,705,961	4,258,684
減価償却累計額	△2,897,179	△2,800,516
機械装置及び運搬具(純額)	808,782	1,458,167
工具、器具及び備品	771,092	967,921
減価償却累計額	△624,504	△647,258
工具、器具及び備品(純額)	146,588	320,663
土地	1,301,441	1,301,018
建設仮勘定	536,756	345,820
有形固定資産合計	5,538,891	8,536,360
無形固定資産	256,009	369,111
投資その他の資産		
投資有価証券	502,071	442,277
その他	454,376	526,596
貸倒引当金	△71,388	△81,065
投資その他の資産合計	885,059	887,809
固定資産合計	6,679,961	9,793,280
資産合計	11,995,058	15,524,388

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	776,810	695,734
電子記録債務	787,556	897,714
短期借入金	1,852,335	1,451,650
リース債務	90,137	100,724
未払金	784,122	791,453
未払法人税等	131,946	—
賞与引当金	69,137	78,608
役員賞与引当金	50,000	—
その他	549,657	347,726
流動負債合計	5,091,704	4,363,612
固定負債		
長期借入金	2,790,427	6,450,007
リース債務	129,883	563,564
役員退職慰労引当金	147,630	146,430
退職給付に係る負債	70,217	64,242
その他	3,815	10,875
固定負債合計	3,141,974	7,235,119
負債合計	8,233,679	11,598,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,104	714,104
資本剰余金	943,209	943,209
利益剰余金	1,890,529	2,121,719
自己株式	△3,857	△3,857
株主資本合計	3,543,986	3,775,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264,670	222,604
為替換算調整勘定	△47,277	△72,125
その他の包括利益累計額合計	217,392	150,479
純資産合計	3,761,379	3,925,655
負債純資産合計	11,995,058	15,524,388

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	11,494,866	12,207,752
売上原価	9,201,857	10,496,018
売上総利益	2,293,009	1,711,733
販売費及び一般管理費	1,360,848	1,262,082
営業利益	932,160	449,650
営業外収益		
受取利息	539	1,086
受取配当金	8,531	6,998
受取家賃	2,465	2,779
補助金収入	—	12,219
受取保険金	—	4,300
雑収入	22,934	13,532
営業外収益合計	34,470	40,916
営業外費用		
支払利息	57,518	70,885
為替差損	12,207	13,433
支払手数料	8,054	695
その他	638	309
営業外費用合計	78,419	85,324
経常利益	888,211	405,243
特別利益		
固定資産売却益	—	304
投資有価証券売却益	25,350	4,892
訴訟関連損失戻入額	9,118	—
特別利益合計	34,468	5,196
特別損失		
固定資産除却損	65,135	6,386
減損損失	29,845	—
訴訟関連損失	7,598	—
ゴルフ会員権評価損	—	3,300
特別損失合計	102,579	9,686
税金等調整前当期純利益	820,100	400,753
法人税、住民税及び事業税	210,916	76,045
法人税等調整額	△5,922	41,122
法人税等合計	204,994	117,167
当期純利益	615,105	283,585
親会社株主に帰属する当期純利益	615,105	283,585

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	615,105	283,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,274	△42,065
為替換算調整勘定	△50,592	△24,847
その他の包括利益合計	△95,867	△66,913
包括利益	519,238	216,672
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	519,238	216,672
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	714,104	943,209	1,327,820	△3,857	2,981,277
当期変動額					
剰余金の配当			△52,396		△52,396
親会社株主に帰属する当期純利益			615,105		615,105
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	562,709	—	562,709
当期末残高	714,104	943,209	1,890,529	△3,857	3,543,986

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	309,945	3,314	313,259	3,294,536
当期変動額				
剰余金の配当				△52,396
親会社株主に帰属する当期純利益				615,105
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△45,274	△50,592	△95,867	△95,867
当期変動額合計	△45,274	△50,592	△95,867	466,842
当期末残高	264,670	△47,277	217,392	3,761,379

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	714,104	943,209	1,890,529	△3,857	3,543,986
当期変動額					
剰余金の配当			△52,396		△52,396
親会社株主に帰属する当期純利益			283,585		283,585
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	231,189	—	231,189
当期末残高	714,104	943,209	2,121,719	△3,857	3,775,176

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	264,670	△47,277	217,392	3,761,379
当期変動額				
剰余金の配当				△52,396
親会社株主に帰属する当期純利益				283,585
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△42,065	△24,847	△66,913	△66,913
当期変動額合計	△42,065	△24,847	△66,913	164,276
当期末残高	222,604	△72,125	150,479	3,925,655

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	820,100	400,753
減価償却費	541,769	612,085
減損損失	29,845	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,266	9,470
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6,500	△50,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33,991	△3,499
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△1,200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△239	12,134
受取利息及び受取配当金	△9,070	△8,085
支払利息	57,518	70,885
ゴルフ会員権評価損	—	3,300
投資有価証券売却損益(△は益)	△25,350	△4,892
固定資産売却損益(△は益)	—	△304
固定資産除却損	65,135	6,386
売上債権の増減額(△は増加)	△331,758	△108,655
たな卸資産の増減額(△は増加)	△525,713	△163,850
仕入債務の増減額(△は減少)	403,305	42,366
未払金の増減額(△は減少)	135,138	△957
未払消費税等の増減額(△は減少)	50,468	△158,755
その他	△74,517	△2,075
小計	1,114,407	655,106
利息及び配当金の受取額	8,740	8,060
利息の支払額	△58,261	△71,976
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△78,033	△213,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	986,852	377,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△85,000	△80,000
定期預金の払戻による収入	90,497	100,783
有形固定資産の取得による支出	△966,537	△3,063,263
有形固定資産の売却による収入	—	304
無形固定資産の取得による支出	△65,497	△115,673
投資有価証券の取得による支出	△2,483	△2,516
投資有価証券の売却による収入	55,858	6,588
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	△24,282
長期貸付けによる支出	—	△46,811
長期貸付金の回収による収入	—	1,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△973,162	△3,223,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,870	△485,533
長期借入れによる収入	1,162,024	5,703,151
長期借入金の返済による支出	△972,988	△1,939,064
自己株式の取得による支出	△13	△3
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△40,380	△42,290
リース債務の返済による支出	△107,588	△103,576
配当金の支払額	△52,181	△52,151
その他	46,393	△145,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,395	2,934,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,609	△1,853
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	33,476	87,047
現金及び現金同等物の期首残高	634,020	667,497
現金及び現金同等物の期末残高	667,497	754,545

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に化粧品等を生産しており、国内においては当社が、仏国においてはテプニエ社が、取り扱う製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」及び「仏国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,285,755	2,209,111	11,494,866	—	11,494,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	83,117	1,981	85,099	△85,099	—
計	9,368,873	2,211,092	11,579,966	△85,099	11,494,866
セグメント利益	676,973	255,280	932,253	△93	932,160
セグメント資産	10,401,319	2,622,995	13,024,315	△1,029,256	11,995,058
その他の項目					
減価償却費	405,806	135,962	541,769	—	541,769
減損損失	—	29,845	29,845	—	29,845
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	840,019	273,470	1,113,490	—	1,113,490

(注) 1. セグメント利益の調整額△93千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額△1,029,256千円は、セグメント間の連結調整の影響額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1、2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,852,270	2,355,482	12,207,752	—	12,207,752
セグメント間の内部売上高又は 振替高	103,991	27,108	131,099	△131,099	—
計	9,956,261	2,382,590	12,338,852	△131,099	12,207,752
セグメント利益	303,958	140,022	443,981	5,669	449,650
セグメント資産	13,881,111	2,776,879	16,657,990	△1,133,602	15,524,388
その他の項目					
減価償却費	479,681	132,404	612,085	—	612,085
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	3,365,684	399,402	3,765,087	—	3,765,087

- (注) 1. セグメント利益の調整額5,669千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント資産の調整額△1,133,602千円は、セグメント間の連結調整の影響額であります。
 3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	1,794.67円	1,873.06円
1株当たり当期純利益	293.49円	135.31円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	615,105	283,585
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	615,105	283,585
普通株式の期中平均株式数(株)	2,095,856	2,095,856

(重要な後発事象)

該当事項はありません。